



館花一仁議員

熊対策について

問 熊対策の有識者で構成される（仮称）有害鳥獣専門チームを設置してはどうか。

答 猟友会員で構成する鳥獣被害対策実施隊を組織している。県と猟友会とも緊密な連携が図られており、被害を防止する体制が確立している。

問 熊を駆除する必要性と生態系保全のバランスは、どのような根拠に基づき進めるべきと考えているか。

答 秋田県が策定した「第二種特定鳥獣管理計画」の第5次計画では、クマの推定生息数を4400頭、捕獲上限を1582頭に設定しており、これに沿った有害鳥獣駆除を実施している。

今年度、全県的に異常な被害状況であったことを考慮し、上限を超えても捕獲・駆除を

認める方針を示しているため、狩猟期間に入っても有害鳥獣駆除を継続しており、引き続き、県の計画に基づいた有害鳥獣駆除を実施していく。

問 人間の生活圏内に現れる、いわゆるアーバンベアの出没が今後想定されるが、被害を防ぐための具体的な取り組みは。

答 来年度以降も猟友会の増員を図る免許取得支援の継続のほか、自治会等の協力を促しながら、有害鳥獣の駆除体制の強化を図っていく。具体的には藪や耕作放棄地、民家近くの柿木などの伐採や農作物の適期収穫などについて注意喚起を継続していく。

質問した項目
■熊対策について



録画配信はこちらから

館花 一仁 議員（鹿真会・公明）

質問時間 45分

議会中継（ライブ配信・録画配信）視聴のご案内

鹿角市議会の本会議の様子は、パソコンのほか、スマートフォンやタブレットからも視聴できます。
議会の本会議の日程は、「鹿角市メール配信サービス」や「市ホームページ」等で随時お知らせいたします。

市ホームページ
↓
鹿角市議会
↓
議会中継
↓
ライブ配信
↓
議会中継（外部サイト）

市ホームページ（鹿角市議会）から議会中継へ

または

スマートフォン等でQRコードをスキャンして議会中継へ

委員会審査ズームアップ

〔議案第94号〕 鹿角市空き公共施設等利活用促進条例の制定について

問 本条例の適用を想定している対象施設は。

答 電気水道等の設備の利用が可能で、耐震基準を満たす、延べ床面積がおおむね300平方メートル以上の施設としており、現時点では旧末広小学校、旧草木小学校、旧花輪北小学校、旧尾去沢デイサービスセンターの4カ所を想定している。

問 全国で空き公共施設が増加している中で、本市の施設が選定されるための戦略は。

答 減額譲渡及び無償貸付または減額貸付について、財産評価額の10分の1の額を下限とした減額を可能としており、安価で大規模施設を提供できる工夫をしている。また、国が開設している「みんなの廃校プロジェクト」のホームページに情報を掲載し、積極的な情報の発信に取り組んでいる。

〔議案第99号〕 令和5年度鹿角市一般会計補正予算（第8号）

問 （庁舎管理費）電気使用量の推移はどのようになっているか。

答 令和5年11月末時点で約36万6,000キロワットアワーとなっており、昨年度の同時期と比較すると10%ほど減少している。